

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、脳神経外科では、本学で保管している診療後の残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方やそのご家族等の中で、ご自身やご家族等の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんやご家族等に不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 誘導ラマン顕微鏡による臨床脳腫瘍検体の詳細スペクトル解析と診断マーカー探索についての研究

[研究対象者]

2000年1月1日から2025年4月30日までに東京女子医科大学脳神経外科で脳腫瘍に対し開頭腫瘍摘出術を受けた患者で、術後病理診断で神経膠腫の診断となった患者

[利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：脳腫瘍組織

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、手術日、画像所見、病理診断

[利用の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

当院で採取された悪性脳腫瘍検体を高性能ラマン顕微鏡を用いて広域スペクトルを取得し、既存手法を追試・検証した上で、診断精度向上と新規マーカー探索を図ることを目的とする。

[主な共同研究機関及び研究責任者]

上記の検体を、下記機関に対して、ラマン顕微鏡でのスペクトル波形の測定のために提供します。

[主な提供方法] ☒ 直接手渡し ☐ 郵送・宅配 ☐ 電子的配信 ☐ その他（ ）

1. 東京大学先端科学技術研究センター 量子イメージング分野 教授 小関泰之

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2028年3月までの間（予定）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 先端工学外科学分野 教授 正宗 賢

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 脳神経外科 嘱託医 呂 聞東

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9 時～16 時）